

【小施策評価(平成30年度実績評価)】

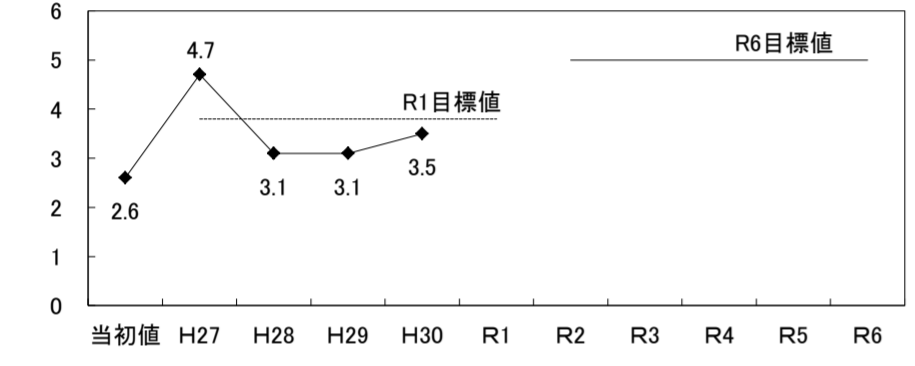
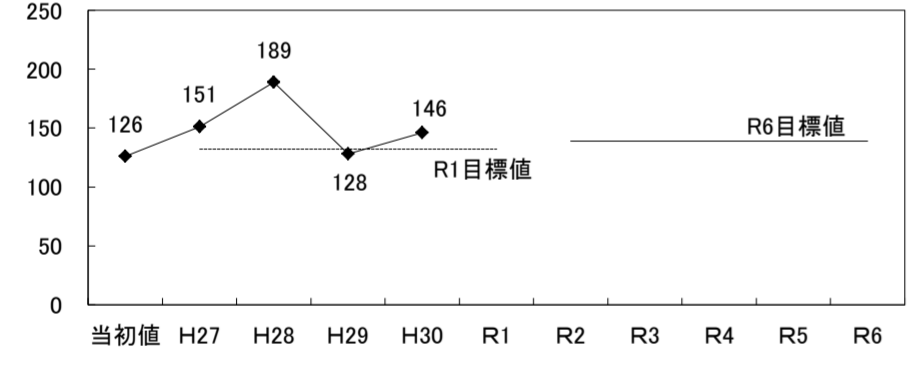
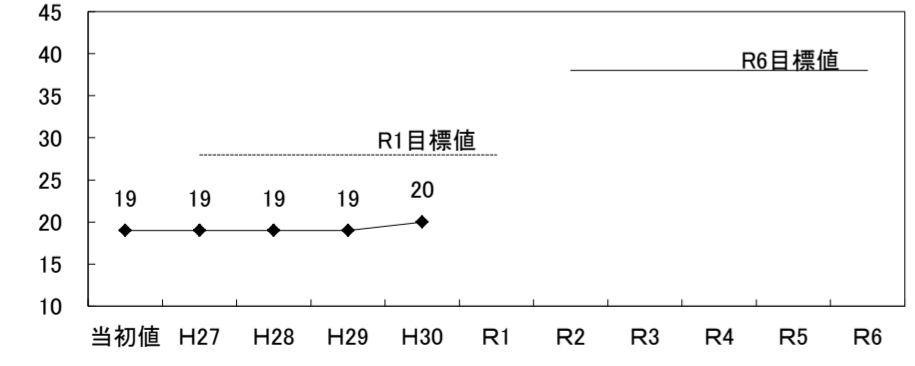
小施策の総合計画における位置付け

基本目標	4	人が集い活力を生むまちづくり	小施策 主管課等	文化国際室
施策	28	国際化の推進	評価 責任者	佐藤 篤 内線 2110
小施策	28-1	国際交流の推進	評価 シート 作成者	小山 訓 内線 2111

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
国籍や文化などの違いに関わらず、すべての市民がお互いの文化的背景や考え方を理解し、共に暮らし支え合う地域社会の実現に向けて、(公財)盛岡国際交流協会をはじめとする民間団体と協働で国際相互理解と国際友好親善の促進を図っていく必要がある。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンとして登録されたカナダとの交流事業の機運醸成を図る必要がある。	市民の国際理解を深めて国際感覚を養うとともに、市民主体の国際交流活動の支援を行うことにより、国籍や文化の違いを越えた相互理解に対する市民意識の醸成を図りながら、地域社会で共に暮らす外国人の支体体制の充実につなげる。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
市民, 外国籍市民	国籍や民族・文化など異なる人々が互いの違いを認め合い、共に生きていこうとすることにより、相互理解が図られる。

小施策の成果指標の達成状況・評価(平成30年度実績)

実績値の推移				実績の評価		
指標	単 位	目指す方向	成果点	成果の要因分析	問題点	問題の要因分析
指標① まちづくりアンケート調査「この一年間に国際交流に参加したことがある」と答えた市民の割合	%	↗	当初値 (H25) 2.6 R1目標値 3.8 R6目標値 5.0	・ホストタウンの取組として、カナダ国の選手が来盛するなど、例年より国際交流の機会を多く提供することができた。 ・国際交流協会が実施している各種講座やイベントは、ほとんど募集定員を満たしての開催となっている。	・市民の割合は前年と比べ0.4ポイント上昇した。 ・平成25年度調査と比較すると1.0ポイント上昇している。	
			<p>・令和元年度の目標値に到達していない。</p>			
指標② 盛岡国際交流協会賛助会員数(個人)	人	↗	当初値 (H25) 126 R1目標値 132 R6目標値 139	・賛助会員には、盛岡国際交流協会の機関紙や各種講座の開催案内を送付するほか、講座の受講料が無料、参加申込を優先させるなどのメリットを設けているため。 ・各種講座参加者に新規加入の勧誘を行ったため。	・前年と比べ18口増加した。	
			<p>・1年更新であり、国際交流協会のイベント参加者に加入を呼びかけても、年度ごとの会員となつてしまい継続的な会員数の増加が見込めない。</p>			
指標③ 盛岡国際交流協会賛助会員数(団体)	人	↗	当初値 (H25) 19 R1目標値 28 R6目標値 38	・団体賛助会員は年1回機関紙に折込チラシを添付しており、更新時期になると加入案内とともに広告原稿の提出を依頼し、電話連絡等も行っているため。 ・賛助会員団体数は同数で推移したが、2口加入した団体があったため。	・前年と比べ1口増加した。	
			<p>・令和元年度の目標値に到達していない。</p>			

今後の方向性(令和元年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R1年度着手済または着手予定 ☆…R2年度以降の着手を検討
<p>★ イベントに伴う国際交流の機会が増えたが、今後増加が予想されている外国籍市民と交流する機会を提供することで、継続的に国際交流の機会を提供する。</p> <p>★ ラグビーワールドカップ2019™や東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、異文化について知る機会や外国人と交流できる機会を提供することで市民の国際感覚の醸成を図る。</p> <p>☆1 出入国管理法の改正により、全国的に外国籍市民が増加すると予想される中、多文化共生・理解を促進し、市内で暮らす外国籍市民の生活支援となる事業・体制や、地域コミュニティとのつながりについて検討する。</p>	
<p>★ 賛助会員に対し魅力のある事業展開はもちろんのこと、継続的に賛助会員に加入してもらえらる特典を検討する。</p> <p>★ 平成30年度にリニューアルしたホームページを活用し、盛岡国際交流協会の活動の周知を図るほか、SNSを活用してより多くの市民の目に触れる機会を作る。</p>	
<p>★ 団体賛助会員向けのサービスの充実など、団体賛助会員にとっても魅力ある事業展開と情報発信を検討する。</p> <p>★ 平成30年度にリニューアルしたホームページを活用し、盛岡国際交流協会の活動の周知を図るほか、SNSを活用してより多くの市民の目に触れる機会を作る。</p> <p>☆1 賛助会員の特典の検討</p>	